

iPhone での専用電源の動作はなんら問題ありません。

音質は低域側のレンジが更に伸び、広がりも拡大し、音も落ち着く感じですよ。

明らかに電源交換の効果は認められます。

さて音の方ですが、iPod Classic でも違いはわかりやすいですね。

低域の解像度が増し、音が膨らむ感じがかなり薄まります。

レンジも下に向かって延びています。鼓膜に響く超低域のエネルギーを明確に捉えることができます。高域については小生は 16KHz 以上は聞こえませんがよくわかりませんが、劣ることは無いですね。耳の良い方なら違いがよくお分かりになるかも知れません。

フラットな傾向が強まり、ドンシャリ好きな方は物足らなさを感じるかも知れませんが小生は好みです。うまく表現できませんがまさに"淡々と鳴る"イメージです。1年程度前のあるショップで型番は忘れましたが dcs の 200 万円以上する CDP(NHK のリファレンスモデルと聞きました) を聴いた時の印象に近いものがあります。(もちろん絶対的な音質の差は歴然でしょうが)

派手さは無いのですが、特定の音域が強調されることもなく正確に淡々と鳴っていたのを憶えています。その時の印象に近いものがありますね。

あくまで電源を切り替えた時の変化の仕方を例えた話です。

うまく表現できなくて申し訳ありません。

しかし、たった 1.5 万円程度のトラポと専用電源でこの音質が得られるとは驚きです。アナログレコードは別次元であり競合は無いですが、CDP の存在価値が急速に衰えていくのではないかと思います。ディスクをぶれなく回転させ、レーザーで正確に瞬時に読み取ることに今まで各社はお金をかけてきたわけですが、パソコンなら簡単にビットパーフェクトのコピーが可能です。同期転送する必要がありませんのでデータが完全一致するまで何度でも読み込みなおしを行いますから。

パソコンからのデータ転送には電源系、HDD 等のノイズが障害になりますが、iPod トラポなら多くを回避可能です。ND-S1 をヒントに高級モデルが今後出てくるのではないかと予想します。もちろん電源を強化してです。

ND-S1 が陳腐化しないうちに早期に市販化した方が良いかも知れませんね (笑)

今回の改良型の動作に問題は無いようですが、これで最終形になるのでしょうか？

他に改良アイデアがお有りでしたら返却しますが、このまま市販化されるのであれば本機を製品として引き取りたいと思います。

ご予約をお聞かせください。

もちろん試して欲しいテストがあれば今後もお手伝い致しますのでおっしゃってください。

まずは無事動作したことをご報告致します。